

口腔がん

セルフチェックのすすめ



徳島大学医歯薬学研究部
口腔外科学分野 助教
くどう けいこ
工藤 景子氏

口の中にできるがんを「口腔がん」と呼びます。でやすい部位は舌や歯肉です。口腔がんの発生頻度は、がん全体の2%程度ですが、最近、増加しています。

早期発見・早期治療できれば、口腔がんの5年間の生存率は90%以上で、比較的治りやすいがんです。しかし、がんのサイズが大きくなったり、首のリンパ節に転移すると治療成績が下がると共に、治療後の後遺症が大きくなります。

口腔がんは、自分で見て、触れるため、セルフチェックで見えます。2週間以上治らない潰瘍や口内炎、硬いしこりやカリフラワー状の表面が粗造なできものなどがあつたら、かかりつけ歯科や口腔外科・耳鼻咽喉科などで診てもらいましょう。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp>